

## 第39回通常総代会アピール

### 「持続可能な社会の実現を目指して、私たちのできるコト」

今日の通常総代会に至るまでの機関会議では、「私たちの暮らしの中で生協がどのように役に立っているのか？」たくさんの声を寄せ合いました。「小さい子どもがいると買い物に出かけるのは大変。だから、宅配はとっても助かるわ。」「自分で作れなくなっても温かい美味しい食事がしたい。夕食宅配があるから安心。」「孤独は嫌。人との出会いやつながりを持てるのが生協の魅力。」一人ひとりの暮らしの数だけ生協の利用があり、生協の役立ちがありました。このように私たちは、暮らしを良くするために生協を利用しています。

生協を利用して私たちができるコトは、便利に暮らすことだけではありません。私も社会の一員であることを実感したり、新しい発見をすることもできます。そして、「笑顔あふれる暮らし」を実現するために、「私ができるコト」を見つけることもできます。

2015年9月の国連サミットでSDGs「持続可能な開発目標」が採択されました。世界が直面する多くの課題、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動や環境問題など世界中のみんなで協力して2030年までに解決していこうとする具体的な17の目標ですが、遠いどこかの話ではなく、全てはつながっているのだということを私たちは知っています。そしてこのSDGsのめざすものは、コープしがが長年めざしてきた「協同して創ろう、笑顔あふれる暮らし」のゴールと何ら変わりはありません。暮らしの営みは、ずっと続きます。「誰もが安心して暮らすこと」を当たり前の価値として積み重ねてきた多くの事業や活動は、「持続可能な社会」の実現につながります。たとえば宅配のシステムは、食品ロスやCO2削減になります。生産の現場に思いを寄せ、エシカル商品を利用することは、誰かの笑顔をつくれます。

3年前から、総代会アピールでは「笑顔あふれる地域づくりの一步を進めよう」と確認してきました。昨年はその一步を「私のできるコト」として、すすめていくことを確認しました。私たち一人ひとりにできる「私のできるコト」が集まって、大きな力になるのが生協です。誰もが安心して暮らし続けられる「持続可能な社会」をめざし、今年度も小さな「私のできるコト」を積み重ねていきましょう。